

たてしん通信

021号



バックナンバーがホームページでもご覧いただけます！



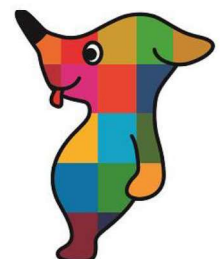
8月15日、「房創人財育英基金」の大学生モニター制度の上期意見交換会を開催しました。また、今年で大学生モニター制度10周年となることから、モニター卒業生を交えた記念交流会も行いました。

房創人財育英基金については、次ページで詳しくご紹介しています！

『千葉県マスコットキャラクター チーパくん』



『千葉県マスコットキャラクター チーパくん』



ちばSDGs
ちばSDGsパートナー 933号

令和8(2026)年10月15日



地域と共に、皆様と共に
館山信用金庫
<https://www.shinkin.co.jp/tateyama/>



📷 交流会の様子

当金庫HP
育英基金ページ



房創人財育英基金とは？

趣旨にご賛同いただいた地元企業や個人からの会費を原資とした**返済不要の奨学金**で地元出身の大学生を支援しています。年2回の交流会や南房総に関連するレポートの提出で**郷土愛を育むとともに、地域との絆を深め、人材育成による地域活性化、Uターン促進**を目的としています。



モニター生OBによる挨拶



出身高校の先生方

同基金では、本制度の趣旨にご賛同いただき、新たに
出資（寄附）頂ける会員様
を随時募集しております。
ご一緒に、未来の南房総
地域を担う若者たちへ
エールを送りませんか？

期	性別	大学名	出身高校	出身地
7期生	男性2名	横浜国立大学 順天堂大学	安房高校	館山市
	女性3名	関東学院大学 淑徳大学 明治大学	長狭高校 館山総合高校	鴨川市 南房総市
8期生	男性2名	立正大学 千葉大学（2名）	安房高校	館山市
	女性3名	専修大学 青山学院大学	長狭高校 館山総合高校	鴨川市 南房総市 勝浦市
9期生	男性2名	創価大学 秀明大学	安房高校	館山市
	女性3名	鎌倉女子大学 明星大学 法政大学	長狭高校 館山総合高校	鴨川市 南房総市
10期生	男性2名	東京農業大学 淑徳大学	安房高校	鴨川市 南房総市
	女性5名	茨城大学 日本大学 明治学院大学 千葉県立保健医療大学 ビューティ&ウェルネス専門職大学	長狭高校 館山総合高校 安房拓心高校 安房西高校	

育英基金会員数（企業・個人）：35名
大学生モニター累計数：48名

たてしん中小企業景況レポート No.35

令和8年(2026年) 7月～9月

編集・発行：館山信用金庫
支援部
TEL:0470-29-3015



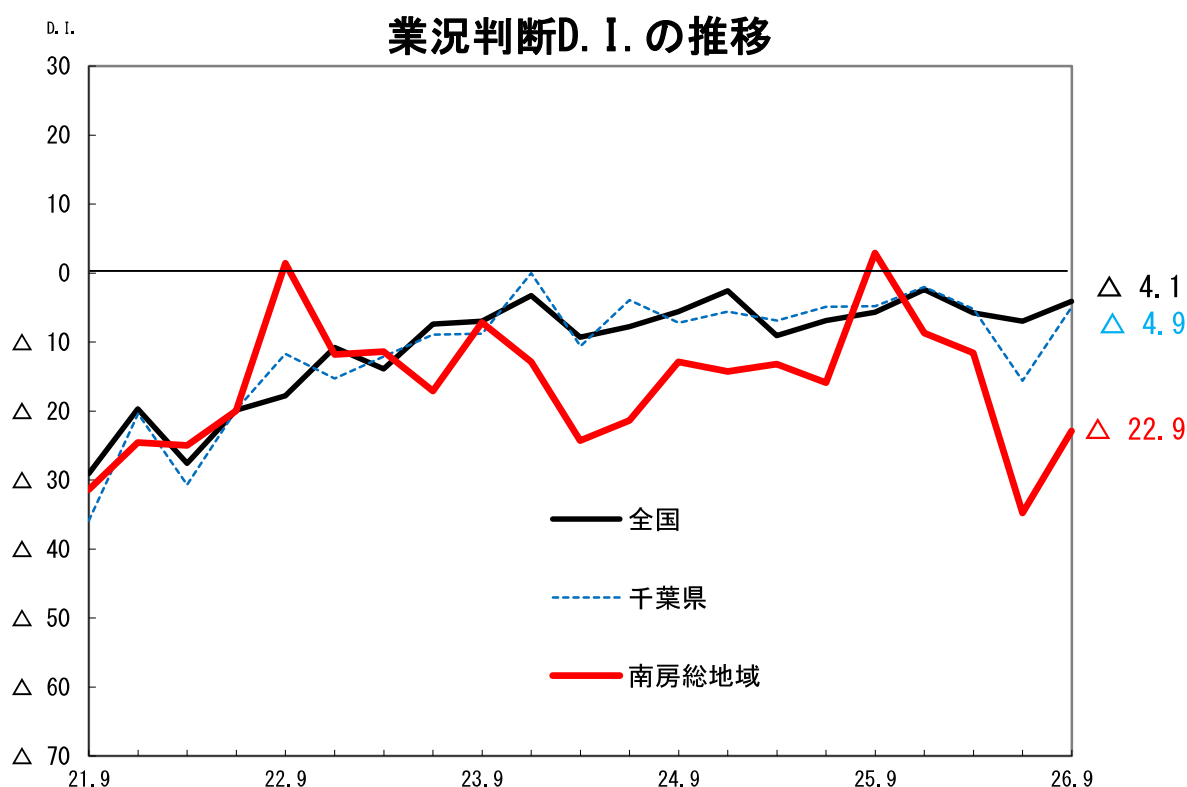
地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<概況>

令和8年(2026年)7～9月期の全国の業況判断D.I.は $\Delta 4.1$ と、前期に比べ2.9ポイントの上昇となった。

なお、今回の業況判断D.I.は、前回調査時における今期見通し($\Delta 12.0$)を7.9ポイント上回った。 ※業況判断D.I.('良い'と回答した割合から'悪い'と回答した割合の差、プラスほど良い)



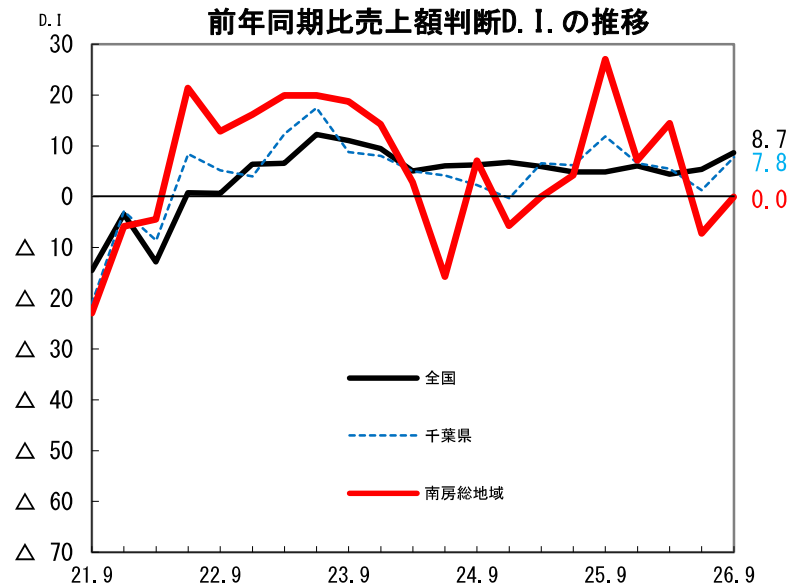
千葉県の業況判断D.I.は $\Delta 4.9$ と、前期に比べ10.7ポイント上昇となった。

南房総地域の業況判断D.I.は $\Delta 22.9$ と、前期に比べ11.9ポイントの上昇となった。

※D.I.とは、Diffusion Indexの略で企業の業況感や人員の過不足などの各種判断を指標化したものです

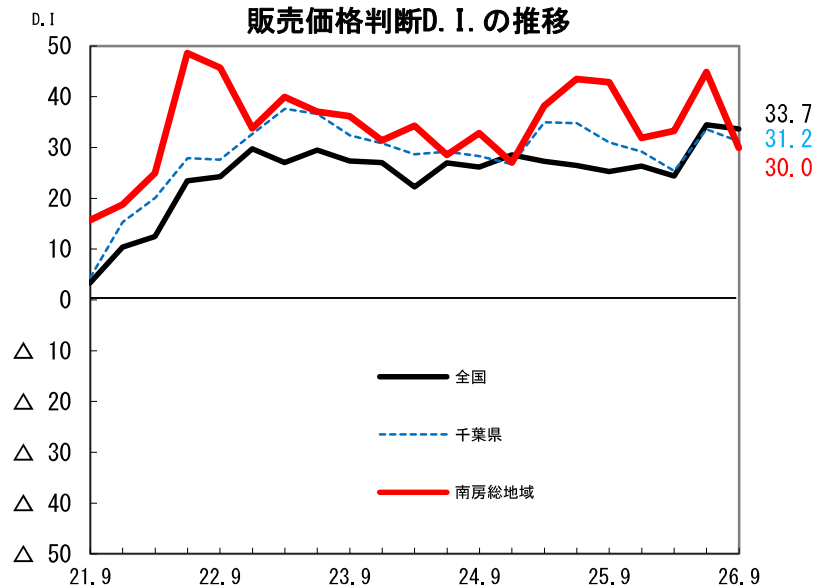
(全国・千葉・南房総)
売上は前回調査比上昇

全国の前年同期比売上額判断D.I.は8.7となった。
南房総地域では0.0となり、
前回調査から上昇したものの、
全国・千葉を下回っている。
※売上額判断D.I. (「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い)



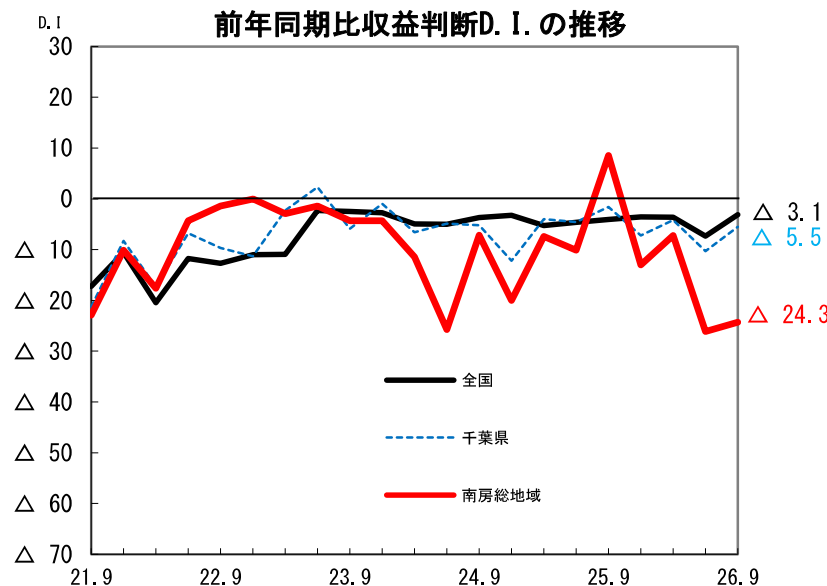
(全国・千葉・南房総)
販売価格は高水準を維持
するも対前期減少

全国の販売価格判断D.I.は33.7と前期比0.8ポイント減少した。
南房総地域では、30.0と前期比14.9ポイントの減少となり、
全国・千葉を下回る水準となった。
※販売価格判断D.I. (「上がった」と回答した割合から「下がった」と回答した割合の差、プラスほど販売価格が上昇)



(全国・千葉・南房総)
収益はマイナス水準

全国の前年同期比収益判断D.I.は△3.1と依然としてマイナスの水準となり、南房総地域についても、△24.3と引き続きマイナスの水準となった。
※収益判断D.I. (「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い)

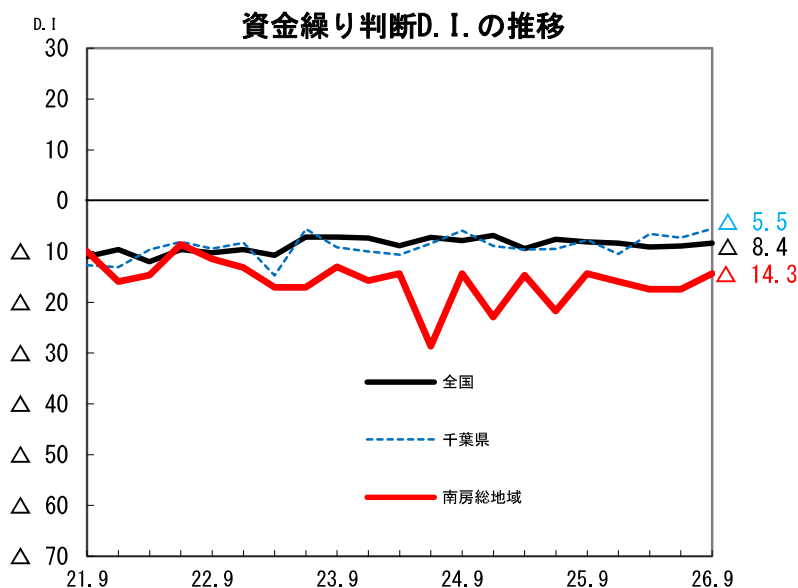


(全国・千葉・南房総)
資金繰りは横ばい

全国の資金繰り判断D.I.は
△8.4と前期比0.5ポイントの
改善、南房総地域でも、
△14.3と3.1ポイントの改善と
なった。

いずれも、年間を通してほ
ぼ横ばいの状況にある。
※資金繰り判断D.I.（「楽（らく）」と
回答した割合から「厳しい」と回答
した割合の差、プラスほど良い）

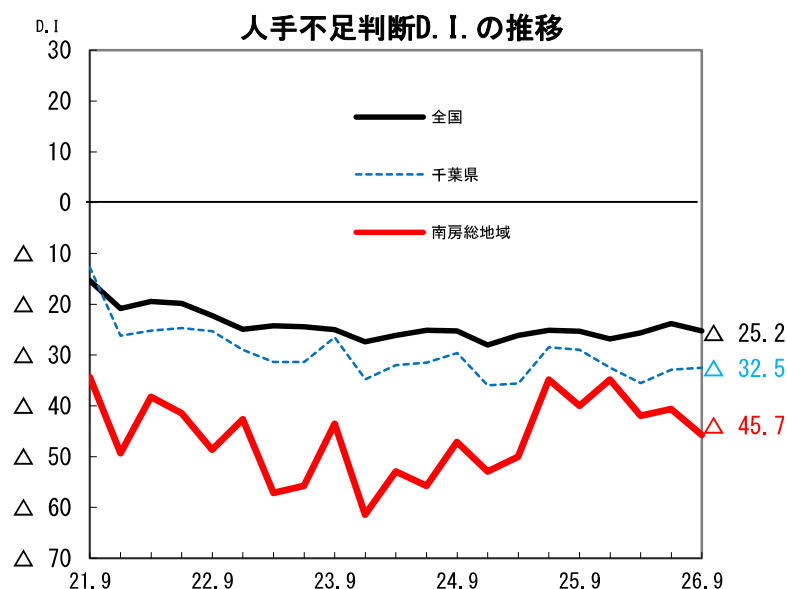
※資金繰り判断D.I.（「楽（らく）」と回答した割合から「厳しい」と回答した割合の差、プラスほど良い）



(全国・千葉・南房総)
人手不足感は依然として強い

全国の人手過不足判断D.I.
は△25.2と、マイナス幅が前
期比1.4ポイント拡大した。
南房総地域は、△45.7とマ
イナス幅が前期比5.1ポイン
ト拡大した。
依然として人手不足感は強
い。
※人手過不足判断D.I.（「過剰」と回
答した割合から「不足」と回答した
割合の差、マイナスほど人手不足）

※人手過不足判断D.I.（「過剰」と回答した割合から「不足」と回答した割合の差、マイナスほど人手不足）



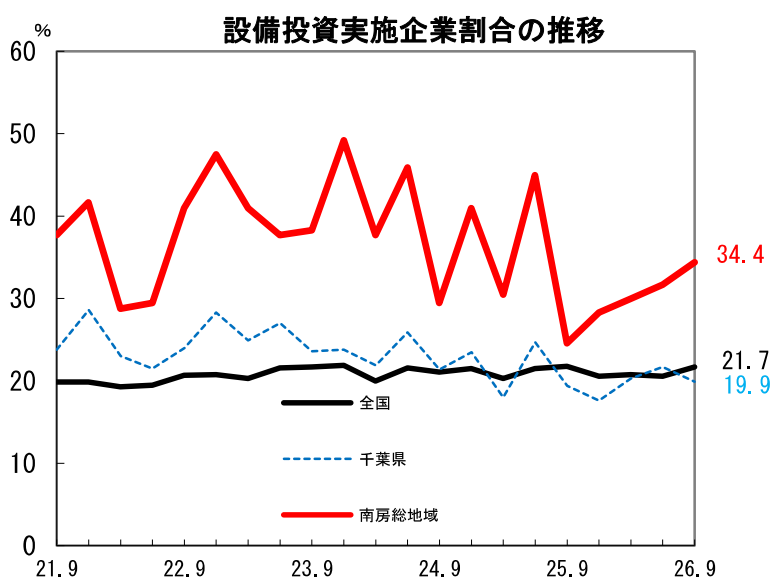
(全国・南房総)
設備投資は上昇

全国の設備投資実施企業割合は21.7%と前期比1.1ポイント上昇となった。

南房総地域では34.4%と前期比2.7ポイント上昇し、依然として全国・千葉を上回る水準で推移している。

※設備投資実施企業割合（設備投資を実施した企業の割合）

※設備投資実施企業割合（設備投資を実施した企業の割合）



中小企業における生成AIの利活用について

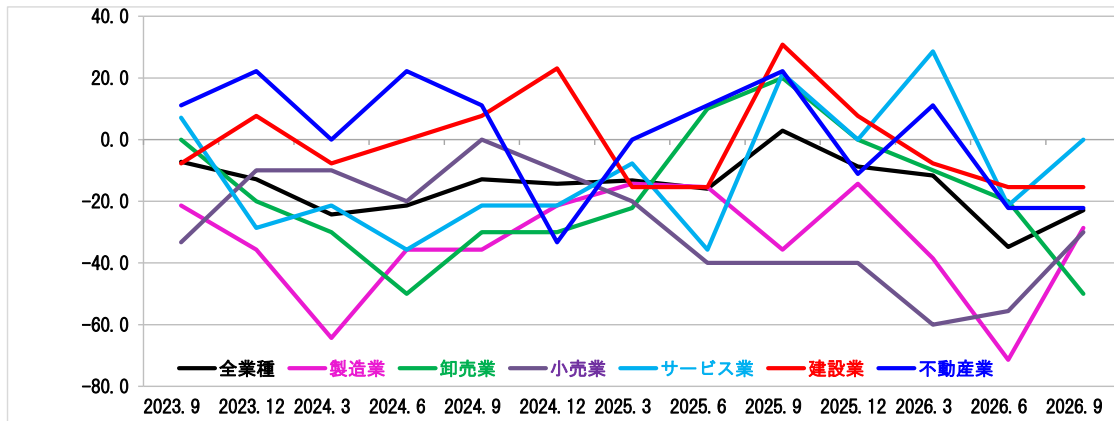
業務上で生成AIを利活用していますか							
項目		全国	南房総	「利活用していない」が最も多く、全国52.7%、 南房総 57.1%となり、まだAIの利活用を行っていない事業者は半数以上いるとの結果となった。			
全社的に利活用		9.6%	10.0%				
主に経営者(個人事業主を含む)		15.4%	12.9%				
主に従業員		11.1%	10.0%				
利活用していない		52.7%	57.1%				
わからない		11.3%	10.0%				
生成AIをどのように活用しているか、またどのような利活用に興味があるか(複数回答)				生成AIを業務で利活用する上で課題となる点(複数回答)			
項目	全国	南房総	全国・ 南房総 ともに利活用の用途としては、「文章作成」が最も多く、全国36.0%、 南房総 37.3%となった。 一方で「利活用しておらず関心がない」は全国38.4%、 南房総 31.3%となり、AI自体への関心がない層も依然として多いとの結果となった。	項目	全国	南房総	「情報漏えい・セキュリティ面の不安」が最も多く、全国35.5%、 南房総 36.4%となり、AI活用の際の大きな懸念となっている。 南房総 では「出力内容の正確性への不安」「業務上での活用方法が分からない」が全国より多くなっており、AI利活用の更なる周知が必要と思われる。
文章作成	36.0%	37.3%		情報漏えい・セキュリティ面の不安	35.5%	36.4%	
問合せ対応の効率化	9.7%	6.0%		利用に際する社内ルールの未整備	18.2%	19.7%	
販促文章の作成	13.5%	22.4%		出力内容の正確性への不安	18.0%	21.2%	
経理事務作業の効率化	15.3%	9.0%		業務上での活用方法が分からない	14.0%	21.2%	
社内情報検索・マニュアル化	7.0%	6.0%		操作方法・使い方への不安	15.2%	7.6%	
採用業務の効率化	3.6%	3.0%		効果検証・運用の時間が確保できない	7.5%	10.6%	
データ分析	18.3%	26.9%		費用対効果が不明	12.0%	13.6%	
アイデア出し・経営戦略策定	15.6%	19.4%		推進できる人材がいない	16.9%	19.7%	
その他	2.4%	9.0%		その他	0.5%	1.5%	
利活用しておらず関心がない	38.4%	31.3%		特にない	26.6%	13.6%	

中東情勢による影響について

中東情勢の混迷等により、原材料や商品等の調達に欠品や納期遅れ等、価格面以外での支障が生じているか				中東情勢の混迷等により、原油価格の高騰や、原材料・商品等の調達が困難な状況が生じている。これを受けて行政に求める支援策は何か（複数回答）				
	項目	全国	南房総	価格面以外での支障が生じているかについては、【直近】では全国・南房総ともに「一部支障が生じている」が最も多く全国48.5%、南房総55.1%、【今後】についても「一部支障が生じる見込み」が全国45.3%、南房総44.8%と今後も中東情勢の影響が続くことが懸念される。	項目	全国	南房総	行政に求める支援策は何かについては、南房総では「エネルギーの安定供給・料金対策」41.8%と最も多くなり、全国では「一時支援金などの給付金」29.9%と最も多くなった。特になしとの回答は少数にとどまっており、エネルギーの供給不安と価格高騰への懸念は非常に強く、行政へ対応を求める声は多くなっている。
直近	かなり支障が生じている	10.0%	14.5%		一時支援金などの給付金	29.9%	34.3%	
	一部支障が生じている	48.5%	55.1%		資金繰り支援の拡充	23.5%	26.9%	
	あまり支障は生じていない	23.6%	18.8%		価格転嫁の円滑化支援	26.7%	17.9%	
	特に問題なく通常通り	11.3%	7.2%		原材料・部材の調達支援	29.1%	23.9%	
	該当なし・分からない	6.7%	4.3%		エネルギーの安定供給・料金対策	26.9%	41.8%	
今後	かなり支障が生じる見込み	7.8%	17.9%		省エネ・効率化の支援	9.1%	9.0%	
	一部支障が生じる見込み	45.3%	44.8%		情報提供・相談窓口の強化	7.7%	9.0%	
	あまり支障は生じない見込み	25.1%	25.4%		買占めや不当な値上げへの監視強化	20.7%	20.9%	
	特に問題なく通常通りの見込み	11.9%	6.0%		その他	0.6%	0.0%	
	該当なし・分からない	9.9%	6.0%		特になし	14.8%	16.4%	

主 要 項 目 時 系 列 表

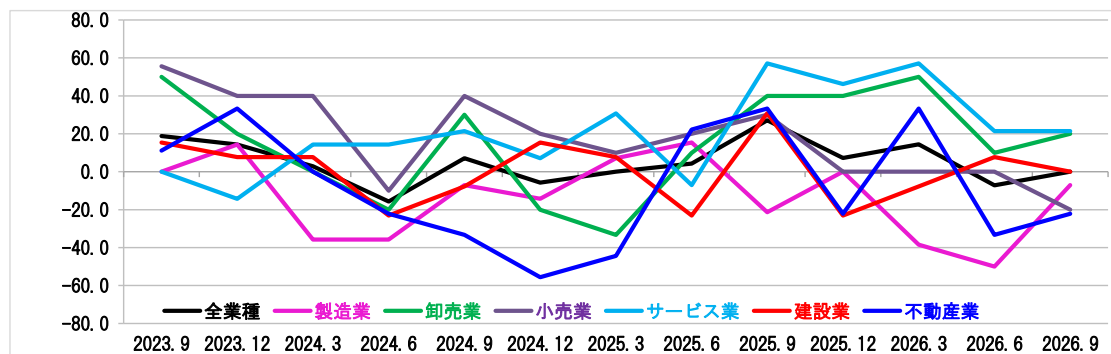
業況判断 D.I.



区 分	2023. 9	2023.12	2024. 3	2024. 6	2024. 9	2024.12	2025. 3	2025. 6	2025. 9	2025.12	2026. 3	2026. 6	2026. 9	2026.12
全 業 種	-7.2	-12.9	-24.3	-21.4	-12.9	-14.3	-13.2	-15.9	2.9	-8.7	-11.6	-34.8	-22.9	-28.6
製 造 業	-21.4	-35.7	-64.3	-35.7	-35.7	-21.4	-14.3	-15.4	-35.7	-14.3	-38.5	-71.4	-28.6	-42.9
卸 売 業	0.0	-20.0	-30.0	-50.0	-30.0	-30.0	-22.2	10.0	20.0	0.0	-10.0	-20.0	-50.0	-50.0
小 売 業	-33.3	-10.0	-10.0	-20.0	0.0	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	-40.0	-60.0	-55.6	-30.0	-40.0
サ ー ビ ス 業	7.7	-28.6	-21.4	-35.7	-21.4	-21.4	-7.7	-35.7	21.4	0.0	28.6	-21.4	0.0	-14.3
建 設 業	-7.7	7.7	-7.7	0.0	7.7	23.1	-15.4	-15.4	30.8	7.7	-7.7	-15.4	-15.4	-7.7
不 動 産 業	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	-33.3	0.0	11.1	22.2	-11.1	11.1	-22.2	-22.2	-22.2

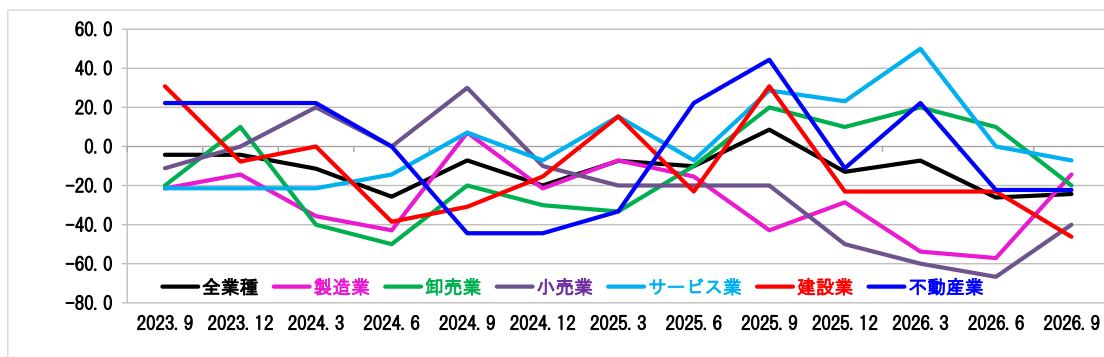
※ 2026.12は、見通しである。

売上額判断 D.I.（前年同期比）



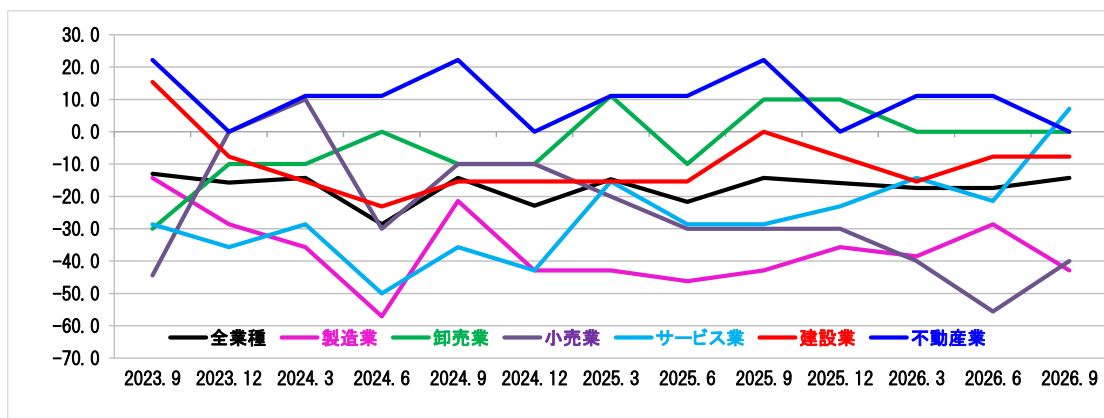
区 分	2023. 9	2023.12	2024. 3	2024. 6	2024. 9	2024.12	2025. 3	2025. 6	2025. 9	2025.12	2026. 3	2026. 6	2026. 9
全 業 種	18.8	14.3	2.9	-15.7	7.1	-5.7	0.0	4.3	27.1	7.2	14.5	-7.2	0.0
製 造 業	0.0	14.3	-35.7	-35.7	-7.1	-14.3	7.1	15.4	-21.4	0.0	-38.5	-50.0	-7.1
卸 売 業	50.0	20.0	0.0	-20.0	30.0	-20.0	-33.3	10.0	40.0	40.0	50.0	10.0	20.0
小 売 業	55.6	40.0	40.0	-10.0	40.0	20.0	10.0	20.0	30.0	0.0	0.0	0.0	-20.0
サ ー ビ ス 業	0.0	-14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	30.8	-7.1	57.1	46.2	57.1	21.4	21.4
建 設 業	15.4	7.7	7.7	-23.1	-7.7	15.4	7.7	-23.1	30.8	-23.1	-7.7	7.7	0.0
不 動 産 業	11.1	33.3	0.0	-22.2	-33.3	-55.6	-44.4	22.2	33.3	-22.2	33.3	-33.3	-22.2

収益判断 D.I.（前年同期比）



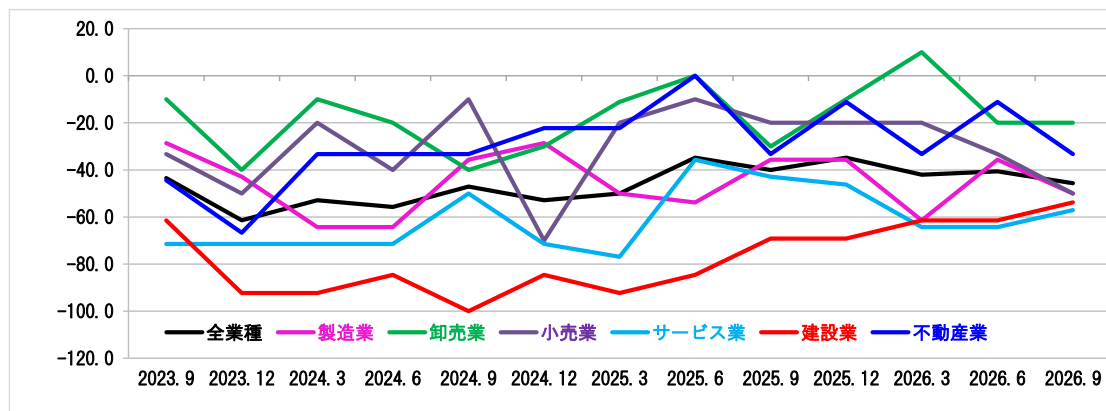
区分	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6	2026.9
全業種	-4.3	-4.3	-11.4	-25.7	-7.1	-20.0	-7.4	-10.1	8.6	-13.0	-7.2	-26.1	-24.3
製造業	-21.4	-14.3	-35.7	-42.9	7.1	-21.4	-7.1	-15.4	-42.9	-28.6	-53.8	-57.1	-14.3
卸売業	-20.0	10.0	-40.0	-50.0	-20.0	-30.0	-33.3	-10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	-20.0
小売業	-11.1	0.0	20.0	0.0	30.0	-10.0	-20.0	-20.0	-20.0	-50.0	-60.0	-66.7	-40.0
サービス業	-21.4	-21.4	-21.4	-14.3	7.1	-7.1	15.4	-7.1	28.6	23.1	50.0	0.0	-7.1
建設業	30.8	-7.7	0.0	-38.5	-30.8	-15.4	15.4	-23.1	30.8	-23.1	-23.1	-23.1	46.2
不動産業	22.2	22.2	22.2	0.0	-44.4	-44.4	-33.3	22.2	44.4	-11.1	22.2	-22.2	-22.2

資金繰り判断 D.I.（楽-苦）



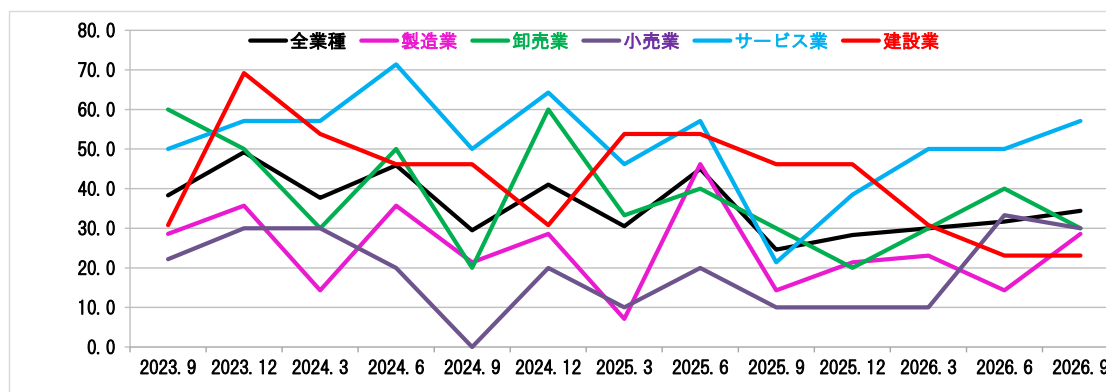
区分	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6	2026.9
全業種	-13.0	-15.7	-14.3	-28.6	-14.3	-22.9	-14.7	-21.7	-14.3	-15.9	-17.4	-17.4	-14.3
製造業	-14.3	-28.6	-35.7	-57.1	-21.4	-42.9	-42.9	-46.2	-42.9	-35.7	-38.5	-28.6	-42.9
卸売業	-30.0	-10.0	-10.0	0.0	-10.0	-10.0	11.1	-10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
小売業	-44.4	0.0	10.0	-30.0	-10.0	-10.0	-20.0	-30.0	-30.0	-30.0	-40.0	-55.6	-40.0
サービス業	-28.6	-35.7	-28.6	-50.0	-35.7	-42.9	-15.4	-28.6	-28.6	-23.1	-14.3	-21.4	7.1
建設業	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-15.4	-15.4	-15.4	-15.4	0.0	-7.7	-15.4	-7.7	-7.7
不動産業	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0

人手不足判断 D.I.（過剰－不足）



区分	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6	2026.9
全業種	-43.5	-61.4	-52.9	-55.7	-47.1	-52.9	-50.0	-34.8	-40.0	-34.8	-42.0	-40.6	-45.7
製造業	-28.6	-42.9	-64.3	-64.3	-35.7	-28.6	-50.0	-53.8	-35.7	-35.7	-61.5	-35.7	-50.0
卸売業	-10.0	-40.0	-10.0	-20.0	-40.0	-30.0	-11.1	0.0	-30.0	-10.0	10.0	-20.0	-20.0
小売業	-33.3	-50.0	-20.0	-40.0	-10.0	-70.0	-20.0	-10.0	-20.0	-20.0	-20.0	-33.3	-50.0
サービス業	-71.4	-71.4	-71.4	-71.4	-50.0	-71.4	-76.9	-35.7	-42.9	-46.2	-64.3	-64.3	-57.1
建設業	-61.5	-92.3	-92.3	-84.6	-100.0	-84.6	-92.3	-84.6	-69.2	-69.2	-61.5	-61.5	-53.8
不動産業	-44.4	-66.7	-33.3	-33.3	-33.3	-22.2	-22.2	0.0	-33.3	-11.1	-33.3	-11.1	-33.3

設備投資実施企業割合（％）

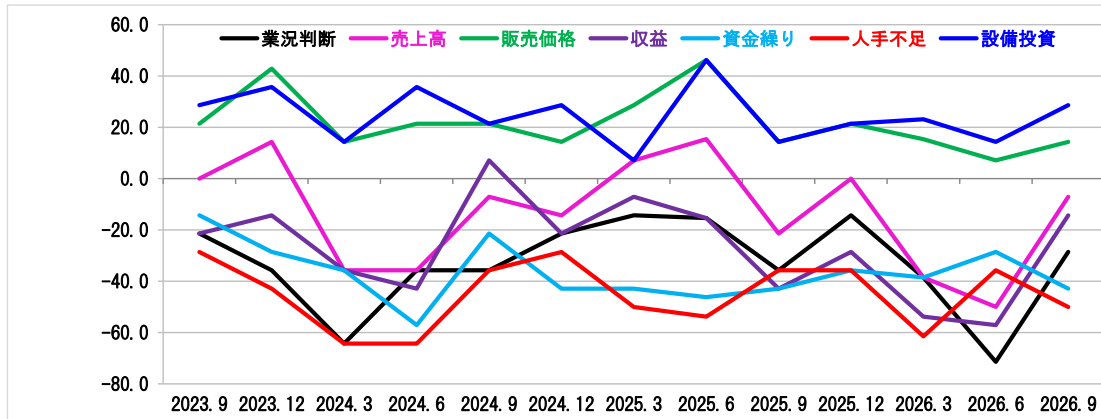


区分	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6	2026.9
全業種	38.3	49.2	37.7	45.9	29.5	41.0	30.5	45.0	24.6	28.3	30.0	31.7	34.4
製造業	28.6	35.7	14.3	35.7	21.4	28.6	7.1	46.2	14.3	21.4	23.1	14.3	28.6
卸売業	60.0	50.0	30.0	50.0	20.0	60.0	33.3	40.0	30.0	20.0	30.0	40.0	30.0
小売業	22.2	30.0	30.0	20.0	0.0	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	33.3	30.0
サービス業	50.0	57.1	57.1	71.4	50.0	64.3	46.2	57.1	21.4	38.5	50.0	50.0	57.1
建設業	30.8	69.2	53.8	46.2	46.2	30.8	53.8	53.8	46.2	46.2	30.8	23.1	23.1

※ 不動産業は、調査対象外である。

業 種 別 時 系 列 表

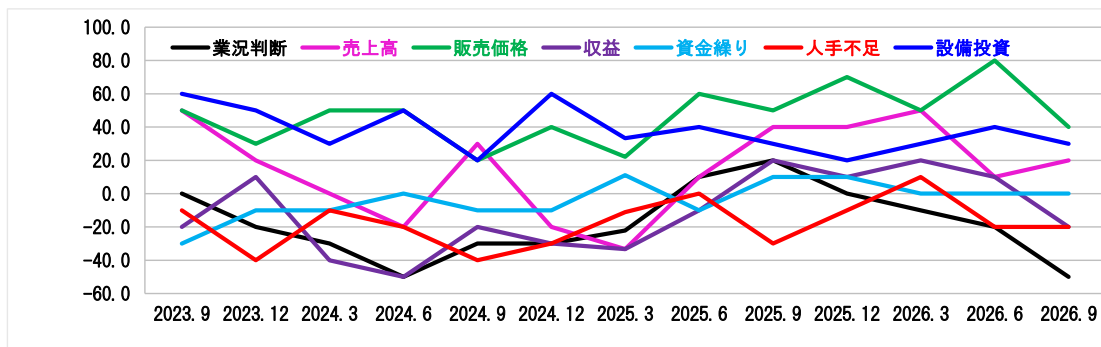
製 造 業



区 分	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6	2026.9	2026.12
業 況 判 断	-21.4	-35.7	-64.3	-35.7	-35.7	-21.4	-14.3	-15.4	-35.7	-14.3	-38.5	-71.4	-28.6	-42.9
売 上 高	0.0	14.3	-35.7	-35.7	-7.1	-14.3	7.1	15.4	-21.4	0.0	-38.5	-50.0	-7.1	
販 売 価 格	21.4	42.9	14.3	21.4	21.4	14.3	28.6	46.2	14.3	21.4	15.4	7.1	14.3	
収 益	-21.4	-14.3	-35.7	-42.9	7.1	-21.4	-7.1	-15.4	-42.9	-28.6	-53.8	-57.1	-14.3	
資 金 繰 り	-14.3	-28.6	-35.7	-57.1	-21.4	-42.9	-42.9	-46.2	-42.9	-35.7	-38.5	-28.6	-42.9	
人 手 不 足	-28.6	-42.9	-64.3	-64.3	-35.7	-28.6	-50.0	-53.8	-35.7	-35.7	-61.5	-35.7	-50.0	
設 備 投 資	28.6	35.7	14.3	35.7	21.4	28.6	7.1	46.2	14.3	21.4	23.1	14.3	28.6	

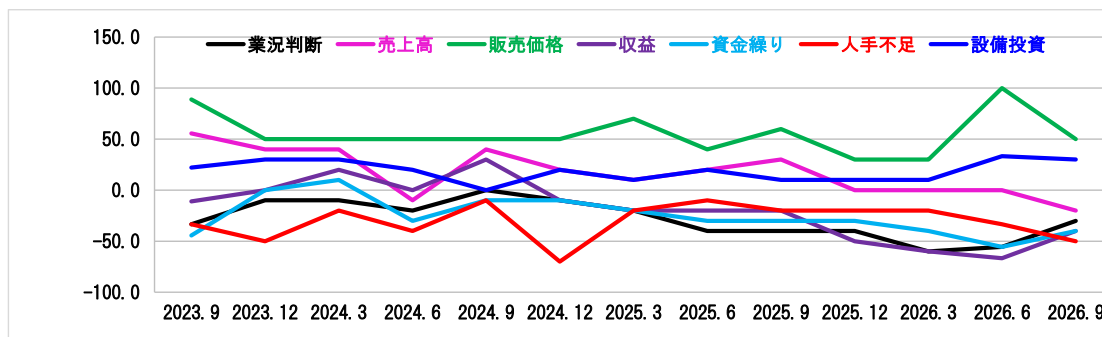
※ 2026.12は、見通しである。

卸 売 業



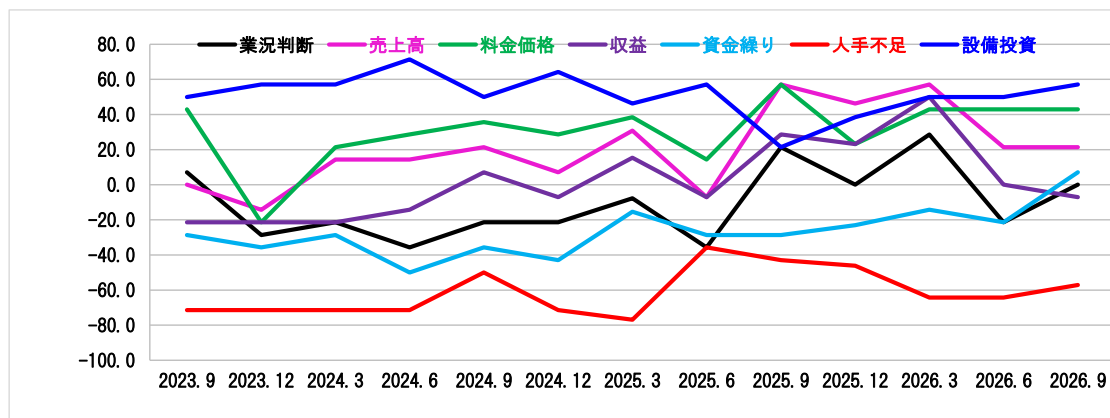
区 分	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6	2026.9	2026.12
業 況 判 断	0.0	-20.0	-30.0	-50.0	-30.0	-30.0	-22.2	10.0	20.0	0.0	-10.0	-20.0	-50.0	-50.0
売 上 高	50.0	20.0	0.0	-20.0	30.0	-20.0	-33.3	10.0	40.0	40.0	50.0	10.0	20.0	
販 売 価 格	50.0	30.0	50.0	50.0	20.0	40.0	22.2	60.0	50.0	70.0	50.0	80.0	40.0	
収 益	-20.0	10.0	-40.0	-50.0	-20.0	-30.0	-33.3	-10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	-20.0	
資 金 繰 り	-30.0	-10.0	-10.0	0.0	-10.0	-10.0	11.1	-10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
人 手 不 足	-10.0	-40.0	-10.0	-20.0	-40.0	-30.0	-11.1	0.0	-30.0	-10.0	10.0	-20.0	-20.0	
設 備 投 資	60.0	50.0	30.0	50.0	20.0	60.0	33.3	40.0	30.0	20.0	30.0	40.0	30.0	

小 売 業



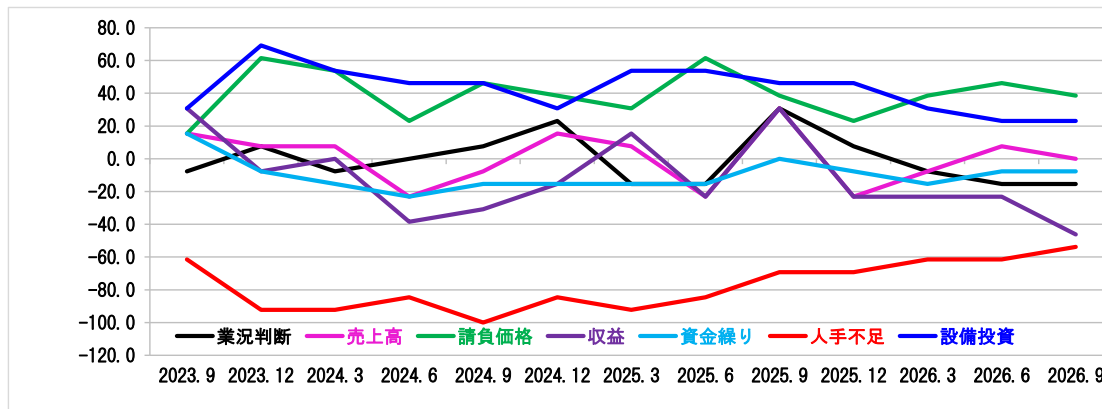
区 分	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6	2026.9	2026.12
業 況 判 断	-33.3	-10.0	-10.0	-20.0	0.0	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	-40.0	-60.0	-55.6	-30.0	-40.0
売 上 高	55.6	40.0	40.0	-10.0	40.0	20.0	10.0	20.0	30.0	0.0	0.0	0.0	-20.0	
販 売 価 格	88.9	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	70.0	40.0	60.0	30.0	30.0	100.0	50.0	
収 益	-11.1	0.0	20.0	0.0	30.0	-10.0	-20.0	-20.0	-20.0	-50.0	-60.0	-66.7	-40.0	
資 金 繰 り	-14.4	0.0	10.0	-30.0	-10.0	-10.0	-20.0	-30.0	-30.0	-30.0	-40.0	-55.6	-40.0	
人 手 不 足	-33.3	-50.0	-20.0	-40.0	-10.0	-70.0	-20.0	-10.0	-20.0	-20.0	-20.0	-33.3	-50.0	
設 備 投 資	22.2	30.0	30.0	20.0	0.0	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	33.3	30.0	

サービス業



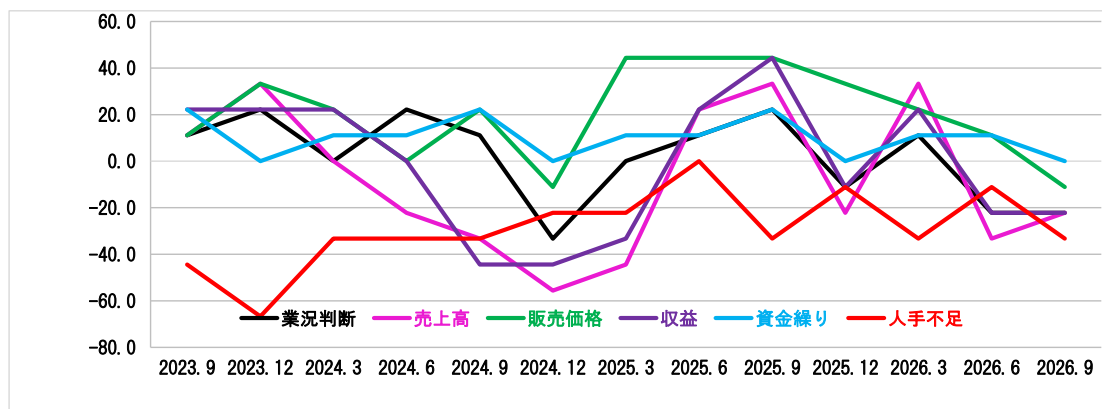
区 分	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6	2026.9	2026.12
業 況 判 断	7.1	-28.6	-21.4	-35.7	-21.4	-21.4	-7.7	-35.7	21.4	0.0	28.6	-21.4	0.0	-14.3
売 上 高	0.0	-14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	30.8	-7.1	57.1	46.2	57.1	21.4	21.4	
料 金 価 格	42.9	-21.4	21.4	28.6	35.7	28.6	38.5	14.3	57.1	23.1	42.9	42.9	42.9	
収 益	-21.4	-21.4	-21.4	-14.3	7.1	-7.1	15.4	-7.1	28.6	23.1	50.0	0.0	-7.1	
資 金 繰 り	-28.6	-35.7	-28.6	-50.0	-35.7	-42.9	-15.4	-28.6	-28.6	-23.1	-14.3	-21.4	7.1	
人 手 不 足	-71.4	-71.4	-71.4	-71.4	-50.0	-71.4	-76.9	-35.7	-42.9	-46.2	-64.3	-64.3	-57.1	
設 備 投 資	50.0	57.1	57.1	71.4	50.0	64.3	46.2	57.1	21.4	38.5	50.0	50.0	57.1	

建設業



区分	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6	2026.9	2026.12
業況判断	-7.7	7.7	-7.7	0.0	7.7	23.1	-15.4	-15.4	30.8	7.7	-7.7	-15.4	-15.4	-7.7
売上高	15.4	7.7	7.7	-23.1	-7.7	15.4	7.7	-23.1	30.8	-23.1	-7.7	7.7	0.0	
請負価格	15.4	61.5	53.8	23.1	46.2	38.5	30.8	61.5	38.5	23.1	38.5	46.2	38.5	
収益	30.8	-7.7	0.0	-38.5	-30.8	-15.4	15.4	-23.1	30.8	-23.1	-23.1	-23.1	-46.2	
資金繰り	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-15.4	-15.4	-15.4	-15.4	0.0	-7.7	-15.4	-7.7	-7.7	
人手不足	-61.5	-92.3	-92.3	-84.6	-100.0	-84.6	-92.3	-84.6	-69.2	-69.2	-61.5	-61.5	-53.8	
設備投資	30.8	69.2	53.8	46.2	46.2	30.8	53.8	53.8	46.2	46.2	30.8	23.1	23.1	

不動産業



区分	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6	2026.9	2026.12
業況判断	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	-33.3	0.0	11.1	22.2	-11.1	11.1	-22.2	-22.2	-22.2
売上高	11.1	33.3	0.0	-22.2	-33.3	-55.6	-44.4	22.2	33.3	-22.2	33.3	-33.3	-22.2	
販売価格	11.1	33.3	22.2	0.0	22.2	-11.1	44.4	44.4	44.4	33.3	22.2	11.1	-11.1	
収益	22.2	22.2	22.2	0.0	-44.4	-44.4	-33.3	22.2	44.4	-11.1	22.2	-22.2	-22.2	
資金繰り	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	
人手不足	-44.4	-66.7	-33.3	-33.3	-33.3	-22.2	-22.2	0.0	-33.3	-11.1	-33.3	-11.1	-33.3	

※ 設備投資は、調査対象外である。

たてしん中小企業景況レポート No. 35 特徴等

(令和8年(2026年)7月～9月)

◆業況判断 D. I. ◆

全国の業況判断 D. I. は△4.1、前期比 2.9 ポイント上昇となりました。千葉県では前期比 10.7 ポイント上昇の△4.9、南房総地域においては前期比 11.9 ポイント上昇の△22.9 となり、前回の落ち込みから改善したものの低い水準となりました。

全国の業種別の業況判断 D. I. は、全 6 業種中、小売業と不動産業で低下したものの、製造業、卸売業、サービス業、建設業の 4 業種では改善しました。

地域別には全 11 地域中、南九州を除く 10 地域でそれぞれ改善しました。

次期の予想業況判断 D. I. を見ると、全国△2.1(今期実績比+2.0)、千葉県△4.5(同+0.4)、南房総地域△28.6(同△5.7)と、**全国・千葉県では小幅改善を見込んでいる中、南房総地域のみ今期実績を下回る見通しとなりました。**中東情勢の影響や 8 月の千葉豪雨の影響もあるなか、今回のアンケートは調査実施が 9 月 1 日～7 日であったことから 9 月の令和 8 年台風 25 号の影響が反映される前の調査結果であり、台風の影響によるシルバーウィークの売上大幅減少や、直接の被害のみならず交通の遮断などによる影響が続いていることから、**千葉県・南房総地域については次期調査において影響が出てくるものと推察されます。**

◆南房総地域の業況判断 D. I. (前期比) ◆

南房総地域の業況判断 D. I. の業種別では、サービス業 0.0(前期比+21.4)、製造業△28.6(同+42.8)、小売業△30.0(同+25.6)の 3 業種で改善、建設業△15.4(同±0.0)、不動産業△22.2(同±0.0)の 2 業種は横這い、卸売業△50.0(同△30.0)となりました。

対前期改善はしている業種が多いもののプラスの水準まで回復した業種はなく、卸売業についてはさらに悪化して 2024 年 6 月調査以来の厳しい回答となりました。

調査先からは、中東情勢の早期正常化を求める声や、政策金利の上昇による金利負担の増加、業種による価格転嫁の難しさなどの声がありました。

◆南房総地域の次期の見込み ◆

次期については、業種別では建設業、不動産業、卸売業を除く 3 業種で今期比低下を見込んでおります。

◆売上額判断 D. I. (前年同期比・南房総地域) ◆

南房総地域の売上額判断 D. I. は 0.0 となりました。業種別で見ると、サービス業 21.4、卸売業 20.0、と 2 業種がプラスの水準、建設業 0.0 と横ばい、不動産業△22.2、小売業△20.0、製造業△7.1 の 3 業種がマイナスの水準となりました。

◆収益判断 D. I. (前年同期比・南房総地域) ◆

南房総地域の収益判断 D. I. は、△24.3 となりました。

業種別では、サービス業△7.1、製造業△14.3、卸売業△20.0、不動産業△22.2、小売業△40.0、建設業△46.2 の全業種でマイナスの水準となっています。

◆資金繰り判断 D. I. (南房総地域)

南房総地域の資金繰り判断 D. I. は、業種別で見ると、サービス業 7.1(前期比+28.5)、小売業△40.0(同+15.6)、卸売業 0.0(同±0.0)、建設業△7.7(同±0.0)、不動産業 0.0(同△11.1)、製造業△42.9(同△14.3)と、2 業種で低下となっています。

◆人手過不足判断 D. I. (南房総地域)・設備投資実施企業割合(南房総地域) ◆

人手過不足判断 D. I. を見ると、全国△25.2(前期比△1.4)、千葉県△32.5(同+0.4)、南房総地域△45.7(同△5.1)となりました。依然として人手不足感は強く、また南房総地域は

全国よりも強い傾向にあります。

一方、南房総地域の設備投資実施企業割合は 34.4%と前期比 2.7 ポイントの低下となり、全国 21.7%、千葉県 19.9%と比べて引き続き高水準を維持しています。

◆特別調査 『中小企業における生成 AI の利活用』について◆

今回、「中小企業における生成 AI の利活用」についての特別調査を行いました。

業務上で生成 AI を利活用していますかについては、全国・南房総ともに「利活用していない」が全国 52.7%、南房総 57.1%と最も多く、まだ AI の利活用を行っていない事業者は半数以上いるとの結果となりました。

生成 AI をどのように活用しているか、またどのような利活用に興味があるかについては、活用の用途としては全国・南房総ともに「文章作成」が全国 36.0%、南房総 37.3%と最も多く、一方で「利活用しておらず関心がない」は全国 38.4%、南房総 31.3%となりました。

生成 AI を業務で利活用する上で課題となる点については、「情報漏えい・セキュリティ面の不安」が全国 35.5%、南房総 36.4%と全国・南房総ともに最も多く、AI 活用の際の大きな懸念となっています。

◆特別調査 『中東情勢による影響』について◆

中東情勢の混迷等により、原材料や商品等の調達に欠品や納期遅れ等、価格面以外での支障が生じているかについては、(直近)では全国・南房総ともに「一部支障が生じている」が全国 48.5%、南房総 55.1%と最も多く、(今後)についても「一部支障が生じる見込み」が全国 45.3%、南房総 44.8%と今後も中東情勢の影響が続くことが懸念されています。

また、行政に求める支援策については、南房総地域では「エネルギーの安定供給・料金対策」が 41.8%と最も高くなり、全国では「一時支援金などの給付金」が 29.9%と最も高くなりました。特になしとの答えは少数にとどまっており、エネルギーの供給不安と価格高騰への懸念は非常に強く、行政へ対応を求める声は多くなっています。

以上

<調査の概要>

- ① 調査時点:令和 8 年(2026 年)9 月 1 日～7 日
- ② 調査方法:当金庫による面接聞き取り方式、または対象企業先による直接記入方式。
なお、全国および千葉県は信金中央金庫地域・中小企業研究所の調査による。
- ③ 分析方法:各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心に分析。
- ④ 調査地域:当金庫の調査地域(南房総地域)は、千葉県館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町の 3 市 1 町。
- ⑤ 対象企業:全国の信用金庫の取引先で、特に回答企業のうち従業員 20 名未満の企業が 7 割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体。
- ⑥ 標本数:全国 14,519 企業(有効回答数 12,874 企業・回答率 88.7%)
千葉県 320 企業(有効回答数 308 企業・回答率 96.2%)
南房総地域 70 企業(有効回答数 70 企業・回答率 100%)

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。

「たてしん」近況のご報告／

8市町に子育て支援寄付



「子育て支援事業」の推進を目的に、一般財団法人たてしん菜の花財団と連名で、店舗所在地の館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町、木更津市、市原市、君津市、袖ヶ浦市の8市町に計80万円を寄付しました。

当金庫では、平成28(2016)年から地域の自治体への寄付活動を継続しており、子育て支援や令和元年房総半島台風被害の災害見舞金、「房州びわ復活プロジェクト」、「花摘み観光再生プロジェクト」等への寄付を行っております。

鴨川支店内装改修工事



9月19日～23日にかけて、鴨川支店の内装改修工事を実施しました。

今回の改修工事では、ATMスペース・待合スペースの拡張、全面ローカウンター化、対面型入金機の導入を行いました。

今後も、地元の金融機関として、地域の皆さまの暮らしに寄り添い、地域に貢献できるよう引き続き金融サービスの向上に努めて参ります。

第2回南房総市モルック大会参加



9月27日、地域住民の健康増進・体力づくりを目指して、いつでも、どこでも、手軽にできるスポーツの日常化を推進することを目的に開催された第2回南房総市モルック大会に、当金庫から3チームが参加し、Aチームが**準優勝**という結果となりました。

モルックとは、フィンランド発祥のスポーツで、木の棒(モルック)を投げて、スキttl(的)を倒し、得点を競うゲームです。

当金庫は、モルックを始めとしたスポーツイベントへの参加を通じて、地域貢献に取り組んで参ります。

やわたんまち



9月19日・20日、千葉県無形文化財に指定されている「安房国司祭 鶴ヶ谷八幡宮例大祭(やわたんまち)」が行われました。

19日には本店駐車場に7基の神輿が立ち寄り、冷たい飲み物等で参加者らをおもてなしました。

台風が接近している中でのやわたんまちとなりましたが、神輿や山車の威勢の良い掛け声は台風にも負けず、地域の伝統と活気が感じられました。

安房高校でワークショップ



7月14日、館山市の安房高校で、地元の事業者や公務員が取り組む研究活動についてのプレゼンテーションを聞き、自分自身が感じた疑問や興味から「問い」を見つけるワークショップが開催されました。

当金庫からは、企画部長が講師となり、地域資金循環の重要性や館山信用金庫の取り組みについて講演しました。

館山市職員を対象とした金融出前講座



9月25日、当金庫支援部職員が講師となり、館山市職員を対象とした金融出前講座を開催しました。

地域における金融の役割や、お金が地域の中で循環することの大切さについて理解を深めていただく機会となりました。

今後も、地域資金循環について学び、地域経済の活性化につながる取組を続けて参ります。

第6回

\\ みんな集まれ! //

たてしんファミリー映画会

2026年11月28日(土)
千葉県南総文化ホール 大ホール

©2024年「お終活 再春」製作委員会

© 2014 Aardman Animations Limited and Studiocanal S.A.



お終活 再春! 人生ラブソディ

ひつじのショーン バック・トゥ・ザ・ホーム

午前 開場 10:00

上映 10:30~12:30

午後 開場 13:30

上映 14:00~15:30

たてしん各店にて「入場整理券」をお申し込みください。
各回先着1,000名様 全席自由

入場無料

主催: 館山信用金庫

地域と共に、皆様と共に

共催: 一般財団法人たてしん菜の花財団 協賛: 日本フルハップ

後援: 館山市/館山市教育委員会/鴨川市/鴨川市教育委員会/南房総市/南房総市教育委員会
鋸南町/鋸南町教育委員会/(有)房州日日新聞社/(一社)関東信用金庫協会

今年も、地域支援の一環として大人も子どもも楽しめるひとときを提供する「たてしんファミリー映画会」を開催します。午前と午後にそれぞれ別の作品をご用意し、皆様のお越しをお待ちしています!



入場には「入場整理券」(無料)が必要です。各本支店の窓口にてお申し込みください。